



学校だより

—しなやかで、たくましい

心とからだを育てる船二小—

令和6年4月30日（火）No.2

江戸川区立船堀第二小学校 校長 則岡 小織

優しさが輝く5月に

校長 則岡 小織



新緑のまぶしい季節になりました。園芸委員会の子供たちが育てた花が校庭を彩っています。1年生を迎える会を終えて、休み時間には黄色い校帽をかぶった1年生も元気に校庭を走り回っています。新しい学級や担任の先生にも慣れてその子らしさが見え始めました。学級開きの4月を経て、本格的に学校・学級が動き始める5月。慣れとともに疲れも出始めるころでもあります。体調に気を付けながら楽しい学校生活が送れるよう、子どもたち一人一人が輝き、成長できるよう励まし伸ばしてまいります。

日光移動教室の实地踏査に行ってきました。朝夕は気温が下がり肌寒く感じましたが、自然の優しさにたっぷり触れることができました。東照宮・戦場ヶ原・日光江戸村・温泉等、どの場所でも外国の方に出会いました。日本文化や歴史に触れ、自然を楽しむ姿は私たち日本人よりも深く感動し学んでいるように見えました。6年生が行く11月はまさに紅葉シーズンです。きっと多くの観光客がいて、その中には多くの外国の方がいることと思います。これからの社会を象徴していると感じます。国や文化や風習、言葉や価値観の違いを受け止めて理解することがこれまで以上にとても大切になってきます。学校でも、学級や学年だけではなく、クラブや委員会、ともだち学級（異学年交流）の活動を通して、人と関わることの難しさと大切さを感じ、関わり方を考える機会となるようにしていきます。また、出前授業やパラスポーツ体験等を通して様々な立場の人を理解できる心を育てていきます。

「校長先生、1年生の荷物重たいよ。」と、1年生に代わって荷物を持って登校を助けている4年生、去年園芸委員会だったからと進んで花に水をあげている6年生、雨の日に1年生の傘を閉じるのを手伝っている6年生、有志で朝の「あいさつ運動」に参加して気持ちのよい「あいさつ」を広めてくれている子供たち、この4月だけでも子供たちの優しさをたくさん見付けました。今年度は異動した教職員が多く、離任式も長くなってしまいましたが、去られた先生方の話をしっかりと聞き、心にとめている姿は「さすが船二の子供たち」と嬉しく思いました。節目を大切にしていって次へとつなげていくこと、人との出会いを大切にすること、人から学ぶことは自分次第です。出会いを大切に、出会いから何かを学び感じることでできる船二の子供たちであってほしいと思います。

さて、来月6月1日（土）に運動会を開催します。昨年同様、日々の体育の学習の発表の場として特別時程を組まずに練習していきます。見せるための運動会ではなく、子どもが「めあて」をもって主体的に取り組み、自分の力を発揮する場とします。参観については、後日、お知らせします。制限なしの実施のため、保護者の皆様のご協力、譲り合い等が参観の成功の大きな力となりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。お子さんの輝く姿を楽しみにしててください。

【 3年生 春のかんさつ 】
春、見つけた！ほら、ここ。



【1・2年生 学校たんけん】
2年生が案内しています。



【4年生 社会の授業】
落ち着いて学習スタート！

